

10代の妊娠・出産・子育て vol.2

若年出産のリアルと

医療現場からみえるリアル

2023年11月30日(木)

開場13時00分 開会13時30分

沖縄県立博物館・美術館2階講堂
(那覇市おもろまち3-1-1)

できるだけ公共交通機関をご利用ください。

会場定員
200名
先着制

ハイブリッド

入場無料

新型コロナウイルス感染症の影響により、会場入場者を制限(無観客含む)して開催する場合があります。

10代の妊娠・出産・子育て vol.2

若年出産のリアルと医療現場からみえること

沖縄県における若年出産率は全国平均の2倍に上ります。「10代で母になること」を決めた彼女たちの言葉にならない「真実の姿(リアル)」を知り、みんなで支えることの重要性について考えます。

調査報告では、県内の出産を扱う医療現場に従事する、医師・助産師・医療ソーシャルワーカー等へ、若年出産当事者について、アンケート調査を行いました。医療現場からみえる「10代の妊娠・出産」の実情を報告します。

13:30 開会 調査報告

医療機関及び当事者への調査

- ①医療機関における若年妊産婦支援に関する調査(調査担当:一般社団法人ある)
- ②当事者の声を聞く「若いママの“今”を調査するアンケート」(調査担当:zeroplace合同会社)

14:00 パネルディスカッション

若年妊産婦に必要な支援とは

※15:00前後に休憩を設けます。

16:00 質疑応答

(16:30閉会)

パネリスト紹介



精神科医 白川 美也子 しらかわ みやこ

こころとからだ・光の花クリニック院長。浜松医科大学医学部卒業後、独立行政法人国立病院機構天竜病院精神科医長、浜松市精神保健福祉センター所長などを経て2013年現職。開業後も社会福祉領域との連携を継続し、児童相談所や児童養護施設や自立支援施設、出産育児を支援する婦人保護施設などでの嘱託勤務や複数の共同体の児童相談所群のコンサルテーションをしている。



フィールドワーカー 武輪 敬心 たけわ けいこ

豊橋技術科学大学ダイバーシティ推進センター特任助教。奈良女子大学人間文化総合科学研究科社会生活環境学専攻博士課程修了(学術博士)。奈良県教育委員会スクールソーシャルワーカー、保育者養成校教員、自立援助ホーム運営委員などを経て2022年現職。大学勤務の傍ら、NPOこどもソーシャルワークONE TEAM副代表理事として社会的困窮にある家庭へのアウトリーチを中心に地域の人たちと協働。



産婦人科医 三浦 耕子 みうら こうこ

沖縄県立中部病院婦人科部長。弘前大学医学部卒業後、沖縄県立中部病院でキャリアをスタートさせる。沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター副医療統括を務める。



■ファシリテーター

本村 真 もとむら まこと

琉球大学人文社会学部教授。こども支援・政策研究所代表。

申込方法 11/27(月) 締切



申込フォームが開きます

- ①氏名②電話番号
- ③所属④メールアドレス
- ⑤参加方法(会場・オンライン)をお書き添えの上、申込みフォームまたはメールでお申込み下さい。

※諸般の事情で当日参加できなかった方向けに、お申し込みのメールアドレスにアーカイブ配信URLを送付予定です。

プレ企画 開場13:00より

県内の「若年妊産婦の居場所」を動画で紹介!

- うるま市:cocomamaru ●沖縄市:ゆるるん
- 那覇市:10代ママの居場所 ねいろ(音色)
- 南風原町:ママ笑room ●宮古島市:ちいきの保健室 たね
- 石垣市:ママホッ!とステーション
- 沖縄県:一般社団法人 おにわ ●広域:10代ママくらぶ

交流タイム

つながろう! 広げよう! 若ママ応援団!

シンポジウム終了後、登壇者を囲んで、参加されたみなさんとのフリートーク交流会を開催します。

【日時】2023年11月30日(木) 17:30(開会18:45)

【会場】カメカメキッチン(県立博物館・美術館2F)

■シンポジウム申込み時に合わせてお申込みください。申込みなしでの参加も可能ですが、定員の都合上ご入場いただけない場合がございますので、予めご了承ください。

■参加費500円(ワンドリンクオーダー制)会場にてお支払いください。

【主催】◎沖縄県「令和5年度若年妊産婦支援促進事業」

【受託団体・問合せ先】一般社団法人ある

【メール】arukodomo@gmail.com【電話】090-4678-2663

【運営協力】国栄ビデオ映像部